

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	02	0401	生活道路維持事業費
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-2	生活基盤の充実		
	施策	1	道路環境の充実		
目的	生活道路の維持管理				
対象	道路利用者				
意図	安全で快適な通行を確保する。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	○市道維持管理（舗装修繕、除雪等）				
市民参画の有無	〔 対象外 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会			事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成			委託
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕件数	路線	計画	22	17	
		実績	23	26	
② 当該年度の補修件数	件	計画	250	250	
		実績	426	363	
③ 当該年度の除雪回数	回	計画	10	10	
		実績	12	6	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕延長	m	目標	7,500	7,000	
		実績	8,535	7,260	
② 市の瑕疵による事故件数	件	目標	0	0	
		実績	1	1	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
舗装補修について、概ね目標どおりの結果となったが、道路補修件数については、現在も地震の影響による道路沈下が現れていることから補修件数の目標値を上げる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市道の管理は道路管理者である市が行うものであり、道路の維持補修を実施するのはこの事業だけである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	舗装など道路の破損箇所については、道路パトロールや補修要望により毎日のように発見されているものの全てに対応出来ない状況であることから、道路パトロール、現地確認、補修対応と早期発見、早期補修につとめることで成果向上につながる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	道路施設の劣化や破損は今後も進むことから、補修箇所が減少する可能性は少なく、安全確保に必要な維持補修事業費の削減余地はない。維持補修箇所への早期対応が必要不可欠であり、パトロールや現地調査、苦情処理等、迅速で確実な対応を効率的に行うための直営人員体制強化が望ましく人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市が管理し、不特定多数が利用する市道の修繕・補修を行う事業であり、受益者は公平・公正になっている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
計画的に舗装修繕（オーバーレイ）を行うため、早期発注を実施したことにより目標延長を達成することができた。また、瑕疵による事故は発生しなかった。 良好な道路の維持管理を継続していくためには、道路パトロールや現場確認、補修対応、苦情処理等への迅速で確実な対応体制を確保していく必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	02	0401	生活道路維持事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		972,975	682,654		△ 290,321
財 源 内 訳	国・県	36,000			△ 36,000
	地方債				0
	その他	43,529	2,073		△ 41,456
	一般財源	893,446	680,581	0	△ 212,865

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努める。

事業開始の背景・経緯
市道の管理は道路管理者である花巻市が行うものであり、生活道路を安心して通行出来るようにするため。

事業概要
○市道維持管理（舗装修繕、除雪等）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・ 1班あたり現場担当職員1名+臨時職員1名による4班体制で補修しているが、増加する市民の要望と年々減少する職員の状況から、特に支所管内では、通常の道路パトロールの確保が困難となっている。
- ・ 作業班体制と地区範囲の見直し、集約を行い直営人員に応じた体制の検討を進める。
- ・ 除雪委託費計算を迅速に行うために、計算システムの導入する。
- ・ 緊急的な補修や除雪、苦情等への責任のある確実な対応と除雪機械の良好な管理を行うために、現場作業、重機作業が可能な直営体制を最小限確保する必要がある。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 重茂 猛 内線 576

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 市道の維持管理 652,152千円 (H26当初比 △119,320千円)

- ◇道路補修、路面・側溝清掃、除雪等業務
 - オーバーレイ補修（26ヶ所） 79,192千円
 - 路面補修（クラック・段差・沈下・穴）、道路施設補修（側溝・照明・法面・防護柵） 183,532千円
 - 路面・側溝・暗渠清掃 6,433千円
 - 施設保守点検（照明・排水ポンプ） 1,942千円
 - 融雪装置点検補修（花巻駅通り、里川口上町他） 18,366千円
 - 緑地等管理（街路樹・法面路肩除雪・害虫駆除・支障木伐採 等） 36,731千円
 - 除雪（延長1,833km） 192,203千円
 - 補修資材（砕石・側溝・ガードレール 等） 18,072千円
 - 凍結防止剤、消耗品等 19,534千円

- ◇道路照明・融雪施設電気料、建設機械修繕・燃料等、道路維持に係る諸経費
 - 電気・水道・通信料（道路照明・融雪施設・排水ポンプ電気料等） 23,416千円
 - 車両経費（タイヤ・チェーン等消耗品、燃料代、車両借上料、車検代等） 17,778千円
 - 修繕料（道路照明、建設機械・パトロールカー等） 28,802千円
 - 道路賠償責任保険（延長 3,507km） 2,624千円
 - その他（汚泥処理手数料、土地借上料等） 1,777千円

パトロールカー	3台
一般自動車	6台
土木作業車	12台
除雪機械	19台
合計	40台

- ◇作業員・運転手・事務補助員 21,750千円
 - 作業員 3人（大迫）
 - 運転手 7人（通年：花巻2、大迫2、石鳥谷1、東和2）
 - 事務補助員 3人（花巻1 大迫1 石鳥谷1）

○ 除雪機械の購入 0千円 (H26当初比△3,495千円)

更新車両	作業内容	経過年数	経費	備考
除雪機械				

○ 市道の維持工事 28,303千円 (H26当初比△13,697千円)

施設名	内容	事業費	備考
石鳥谷人道橋補修	橋梁施設補修	7,883	工事 1件
農道折壁線補修工事	道路補修	12,550	工事 1件 委託 1件
切削オーバーレイ舗装補修	舗装補修	7,870	工事 1件

○ 除雪費計算システム業務 2,199千円 (H26当初比 皆増)

項目	内訳	経費	備考
除雪費計算システム		2,199	